

CAI・PAEの育成と融合

現状の課題と今後への期待



なすのがはらクリニック
小児アレルギーエデュケーター
益子 育代

第71回日本小児臨床アレルギー学会

COI開示

発表者名：益子 育代

演題発表内容に関連し、発表者が開示すべき
COI関係にある企業などはありません。



初診患者の訴え＜アトピー性皮膚炎＞

- 何度聞いてもアトピー性皮膚炎ではないと否定されて…
- あなたは乾燥肌だから、一生通院しなさい。
- 一生治らないと言われてしまい、かゆいのを我慢していきるかしかない、子供にかいちゃだめと言い聞かせてきた。
- 処方されているものは、ステロイドのランクが弱い、塗布量が著しく少ない。
- 漢方でだいぶ良く(軽く)なったんです。だから治療は大丈夫です。

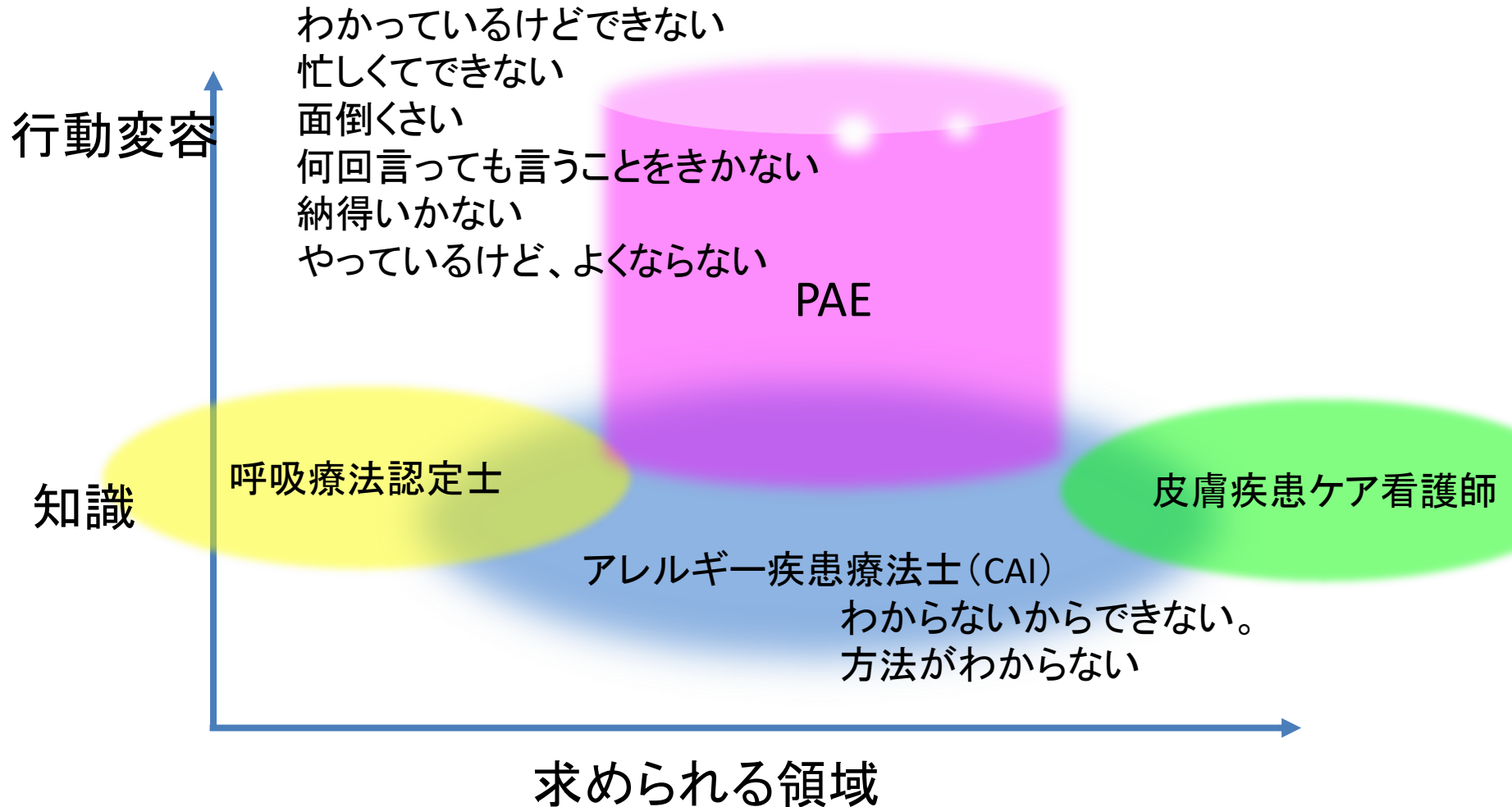
病態生理、治療方法、スキンケアについて丁寧な指導

- ステロイドがよくないと思い込んでいた。こんなに医療が進歩しているなんて… 気持ちがついていかない。



PAEの周辺資格とPAEの位置づけ

求められるレベル



PAEによる吸入指導

前医

指導時
(分析対象)



前医よりICSが
導入 I再指導



新たなデバイ
スに変更



はじめて
ICSが導入

	指導数	平均年齢	DPI	pMDI	吸入液
継続群	52	8.1	28	21	3
変更群	35	6.0	9	23	3
新規群	63	6.0	23	40	2 ※

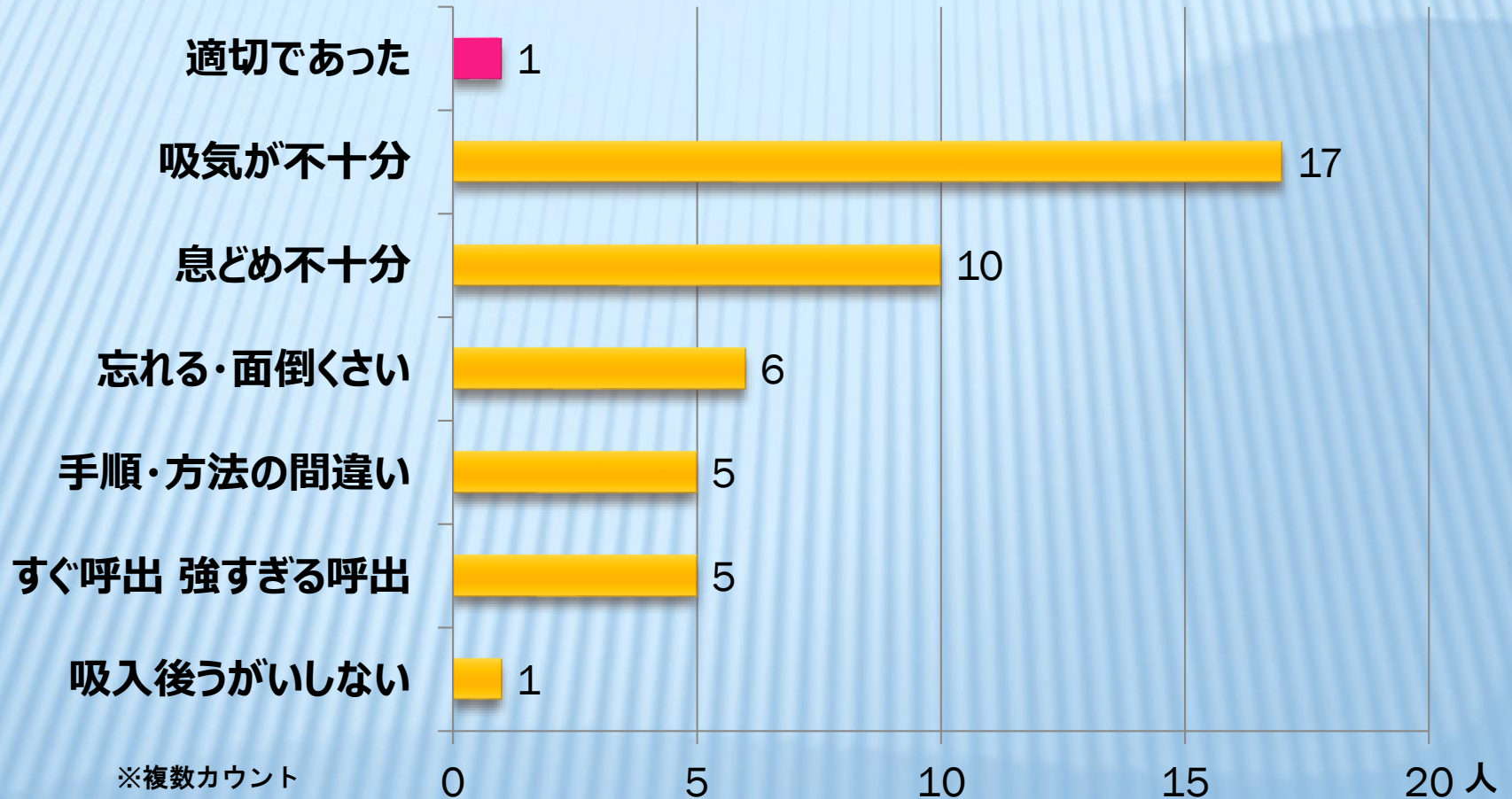
※pMDIと併用

継続群：吸入療法上の問題

DPI

平均年齢11±2.7歳、range 6-15歳

N=28

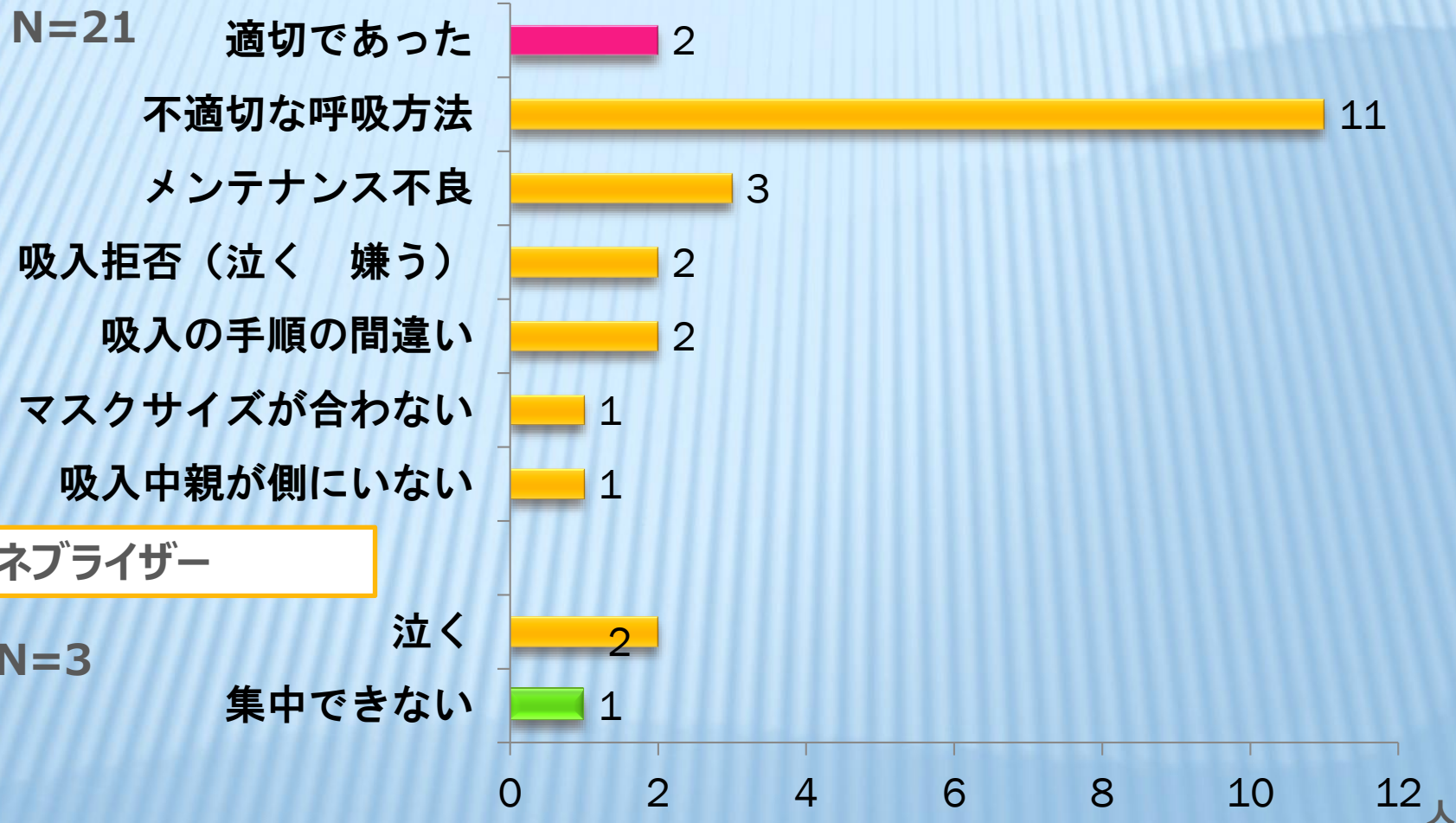


継続群：吸入療法上の問題

pMDI+スパーサー

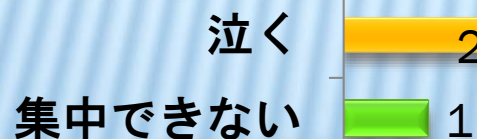
平均5.0±1.8歳、range 2-10歳

N=21



ネブライザー

N=3



吸入実施上の問題に対する解決策

呼吸方法

- 息止めしない
- 呼気・吸気が不適切
- 吸入器のセッティングが不適切
- 本人の能力と吸入方法が不一致
- うがいをしない

- 吸入トレーナーなどを用いた実践指導
- 指導後の確認

アドヒアランス

- 逃げる・嫌がる
- 忘れる 面倒くさい
- 吸入を阻害しやすい状況

- 病態生理に基づいた病気の理解
- 動機を高める導入の工夫
- 行動療法などの応用
- サポート体制の強化

管理

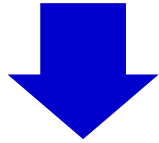
- 手入れの方法を知らない・しない
- 残薬チェックなし

- 実物持参の上で実際に近い状況で確認
- 処方量と実施率と残薬を比較した上での確認



PAEに求められる知識・スキル

- アレルギーに関する高度な知識をもつこと
- コミュニケーション・スキルを持つこと
- 患者教育の理論・スキルを持つこと



患者教育の目標

- 患者・家族とのパートナーシップの確立
- 治療目標の共有化
- アドヒアランスの向上



初診患者の訴え〈食物アレルギー〉

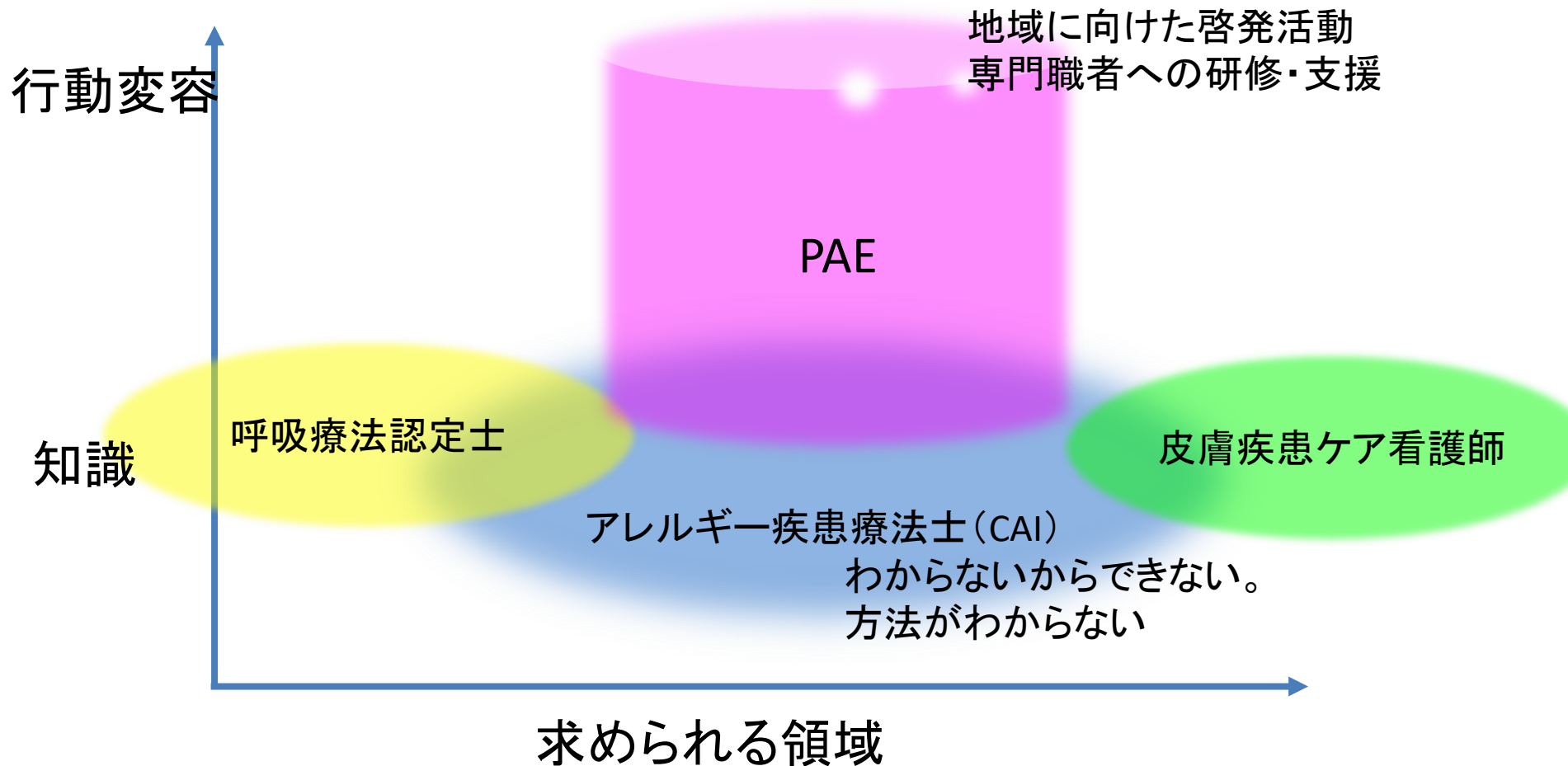
- アナフィラキシー症状出現。すぐに体温測定をした。
- アナフィラキシー症状出現で、早引きをするように言われ、3階に鞆と取りに行ったら、息苦しくなって動けなくなった。
- エピペンが2本処方されたが、どのようにしたらいいのか？
(行政からは1本の指示しか出てないのでわからない)

患者だけでなく、学校や保育施設への研修、指導



PAEの周辺資格とPAEの位置づけ

求められるレベル

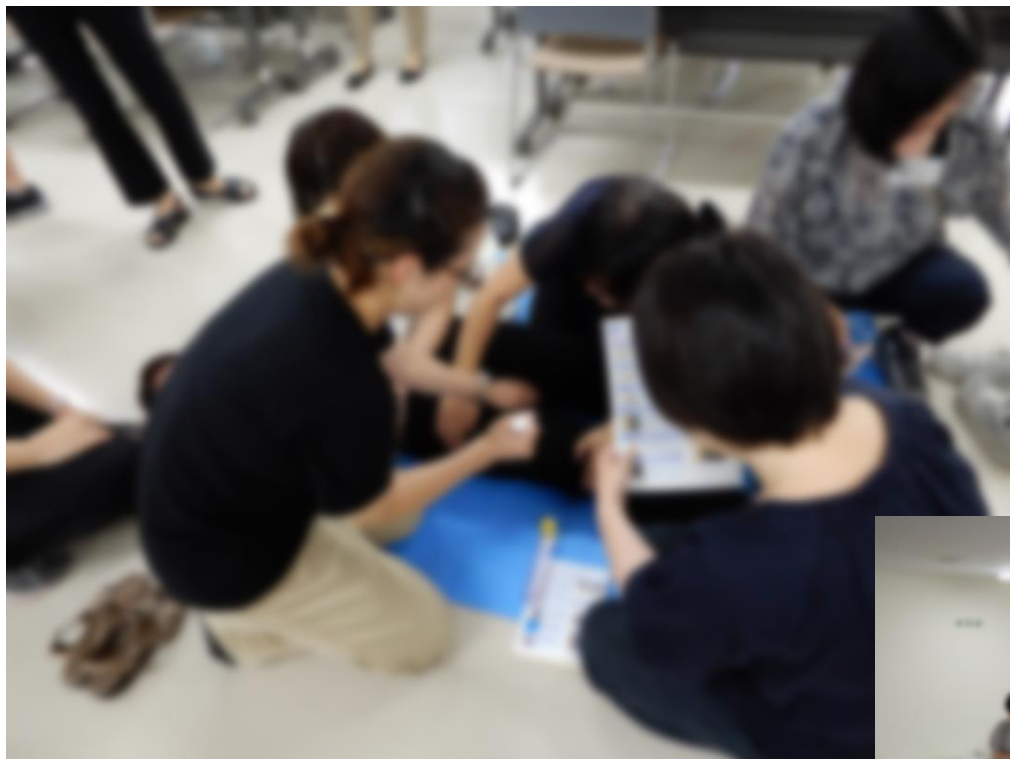




地域に向けた食物アレルギー研修会

125分	講義	<ol style="list-style-type: none">1. 食物アレルギー症状の正しい理解<ul style="list-style-type: none">・食物アレルギーの即時型症状・即時型症状の薬物療法・エピペンの使用方法2. 緊急時の対応<ul style="list-style-type: none">・緊急時対応マニュアル・エピペンの打ち方 管理	講師
85分	シミュレーション	エピペンの打ち方 体位の固定、手技、役割分担	アレルギーエデュ ケーター各Gに2名
	ロールプレイ	緊急時の対応	
75分	グループワーク	ディスカッション <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイの振り返り・個人・職場での対策・取り組み	
30分	まとめ	発表	講師・PAE

食物アレルギー 緊急時対応

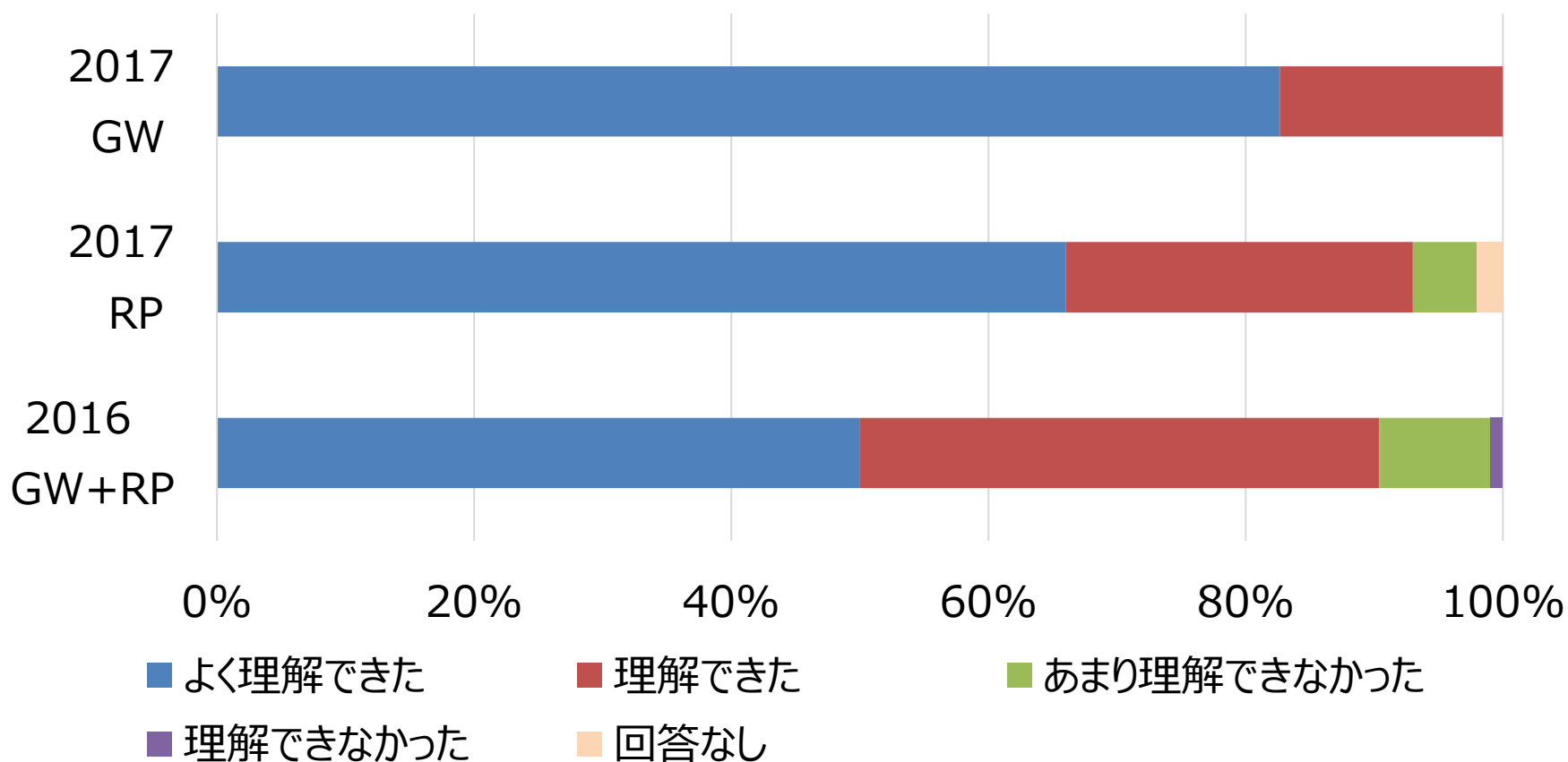


ロールプレイの様子



研修結果 <ロールプレイ・グループワーク>

ロールプレイ (RP) グループワーク (GW)に対する理解の度合





改めてPAEとは？

PAEが有する知識・スキル

- ❖ アレルギーに関する専門知識・技術
- ❖ コミュニケーション・スキル
- ❖ 患者教育の理論・技法



資格取得までのプロセス

小児アレルギーエドゥケーター
基礎講習会

7月頃開催
2日間の基本的な知識の講習会



小児アレルギーエドゥケーター
講習会受講資格試験

9月頃開催
比較的高度なアレルギーに関する知識



合格

小児アレルギーエドゥケーター
講習会

12月頃開催
2日間の実技とコミュニケーション
理論を学ぶ



小児アレルギーエドゥケーター
資格認定試験

12月頃開催
実践力の評価（症例）

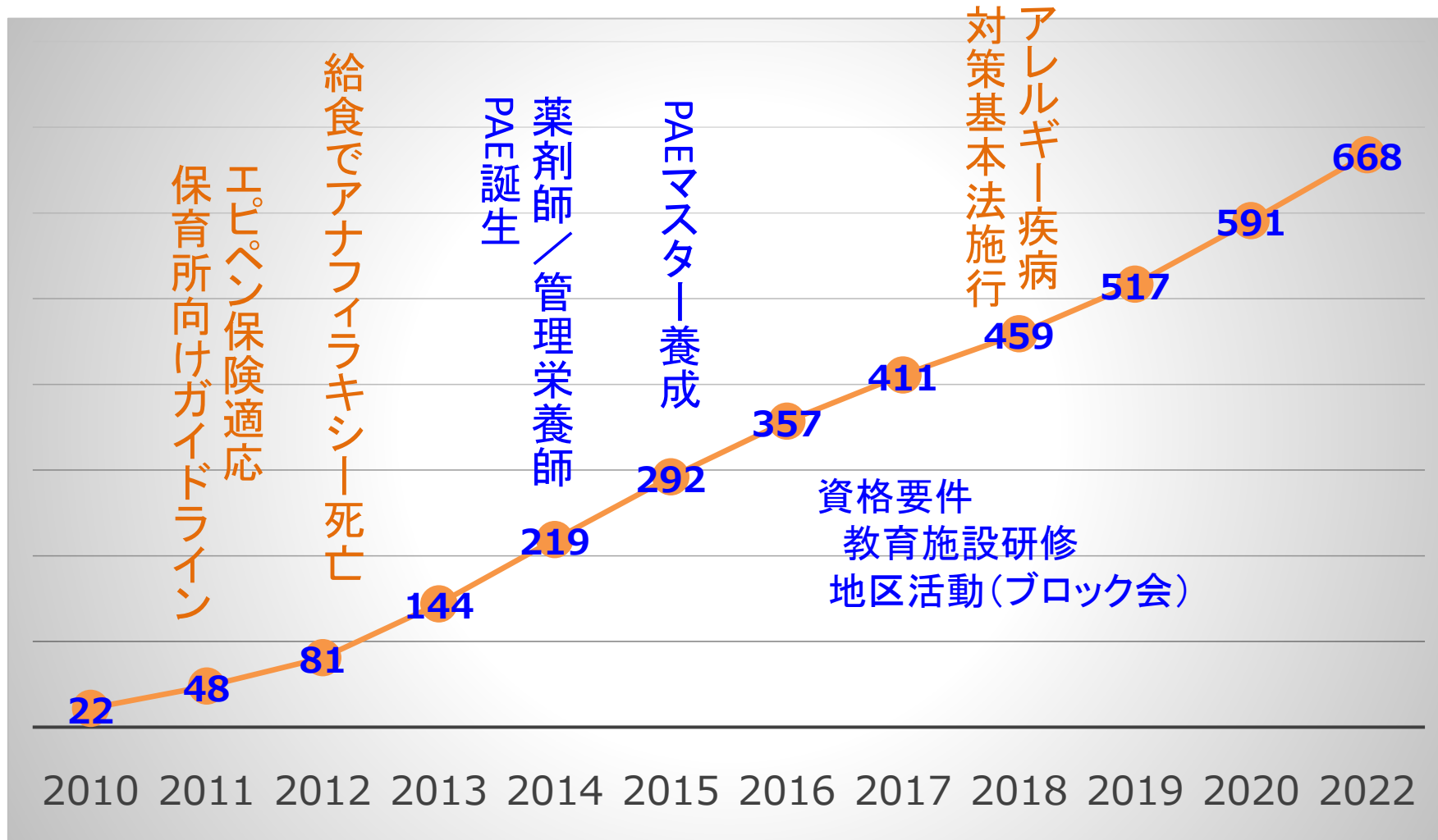


合格

小児アレルギーエドゥケーター
資格認定

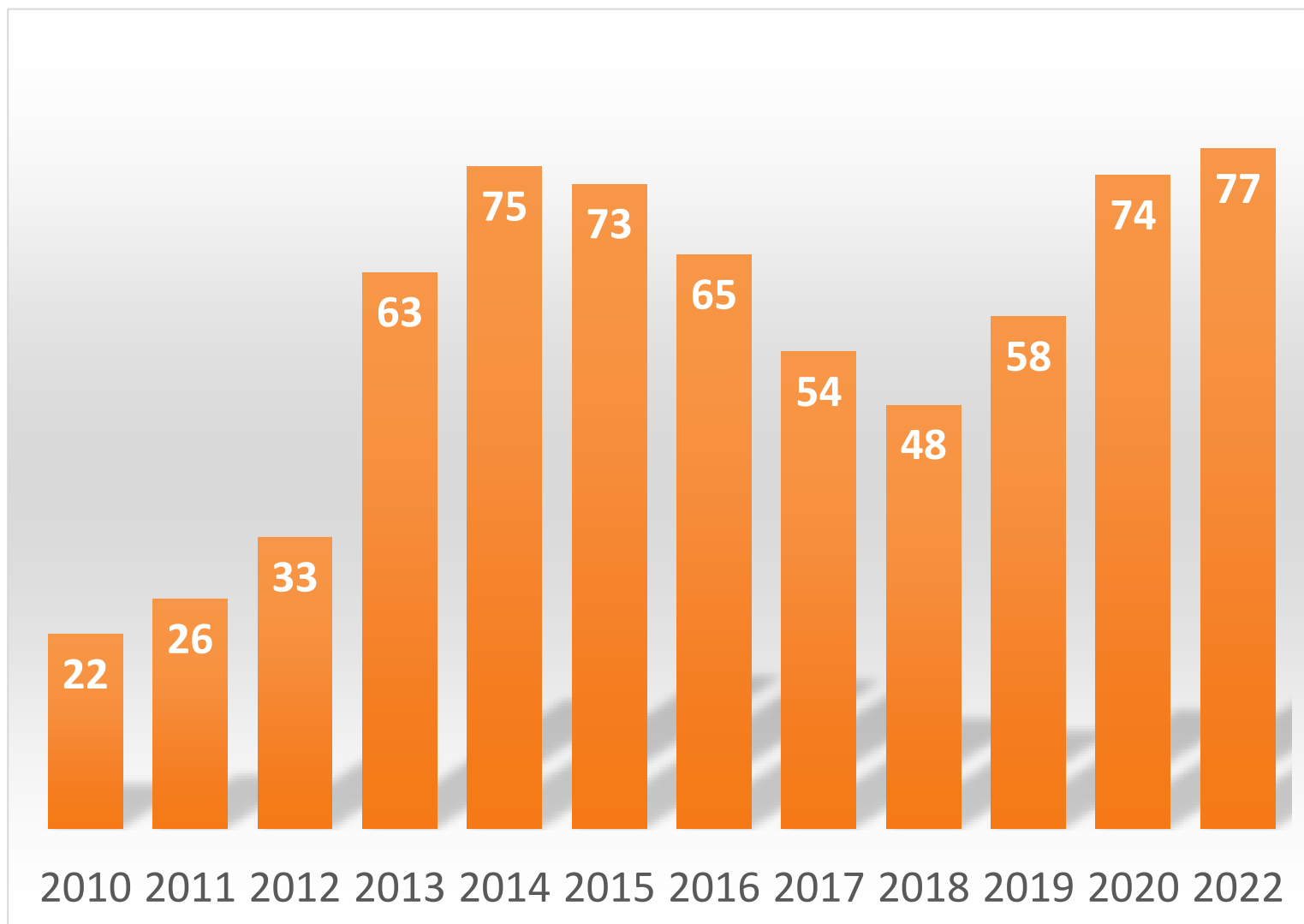


PAE 認定者累積人数





PAE年度別認定者数



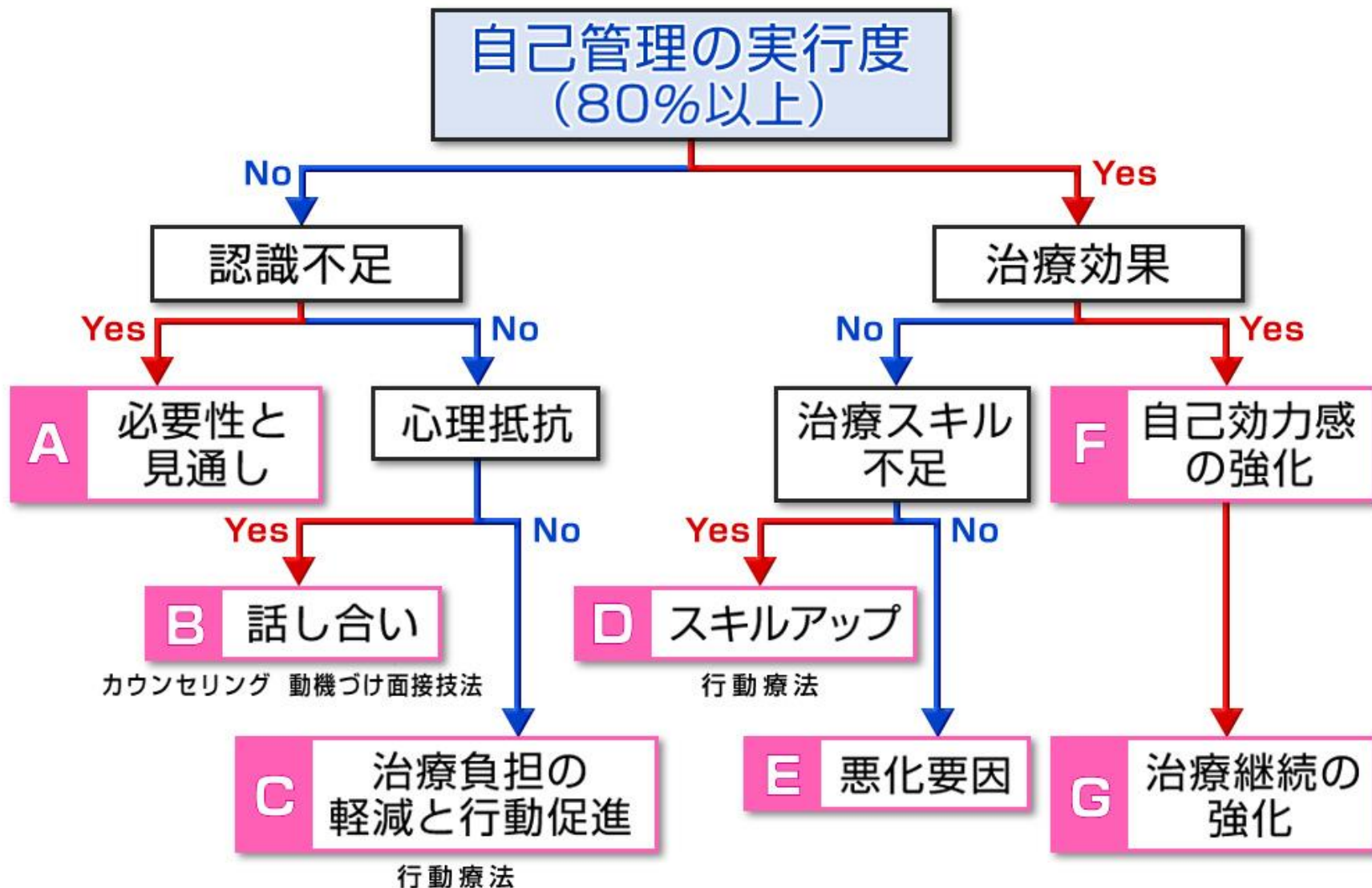


PAE(看護師)の構成

職 種	人 数
看護師・准看護師	435
助産師	3
保健師	2
養護教諭	2
合計	442

2022年9月21日現在

アドヒアランスのアセスメントとその対応

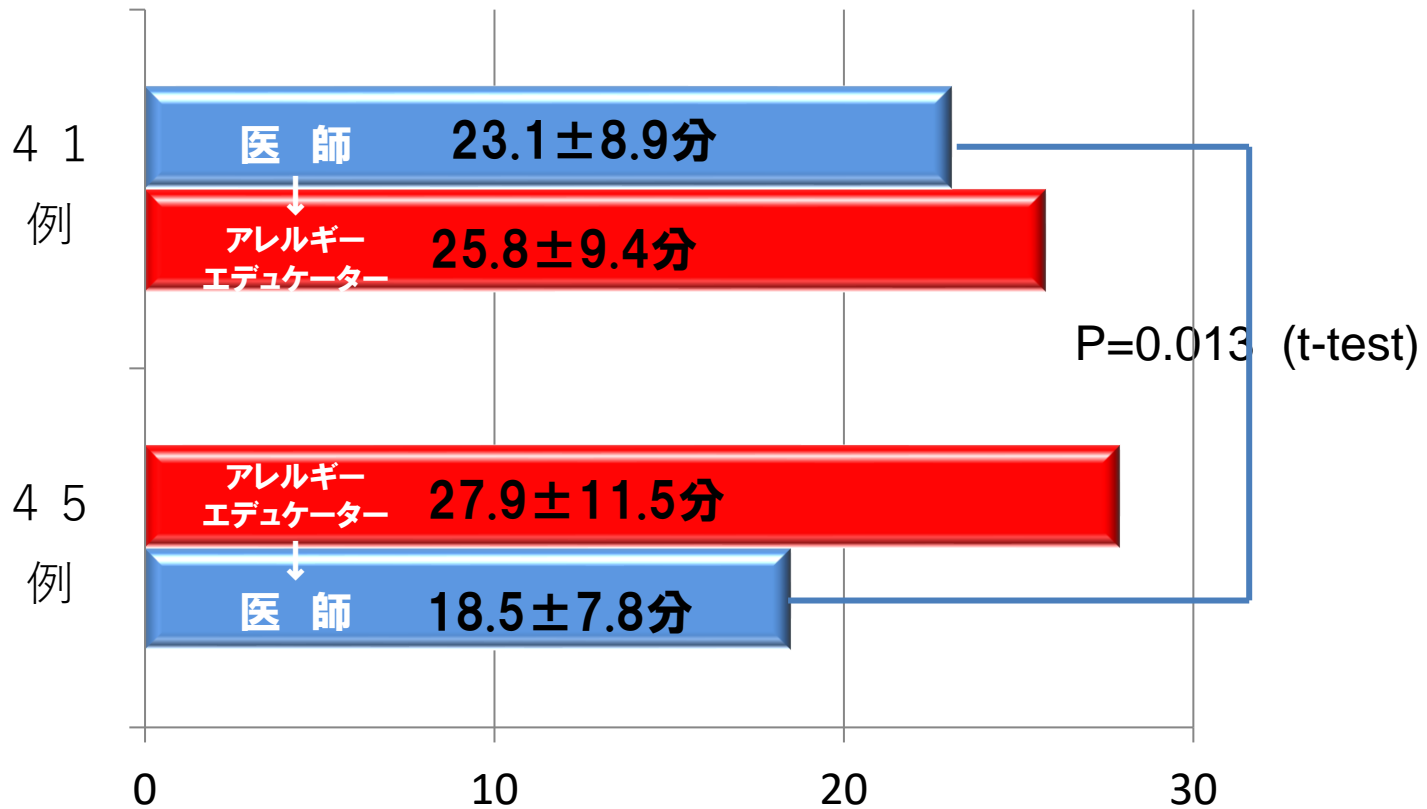


医師の診療時間の短縮

対象：外来受診患者204名中 86名(62症例)

平均年齢：5.3歳(5m-16y1m) (男児61名 女児25名)

指導期間：4.6ヶ月(0-9ヶ月)



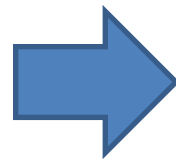
30分 ↑ ≧ 10分 ↓

8症例 → 典型パターン

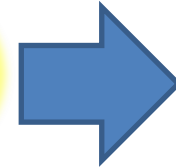


アトピー性皮膚炎 診療の流れ

PAE
問診
皮膚の確認
疾患説明
スキンケア
外用剤の塗分け



治療方針
皮膚の診察
検査説明

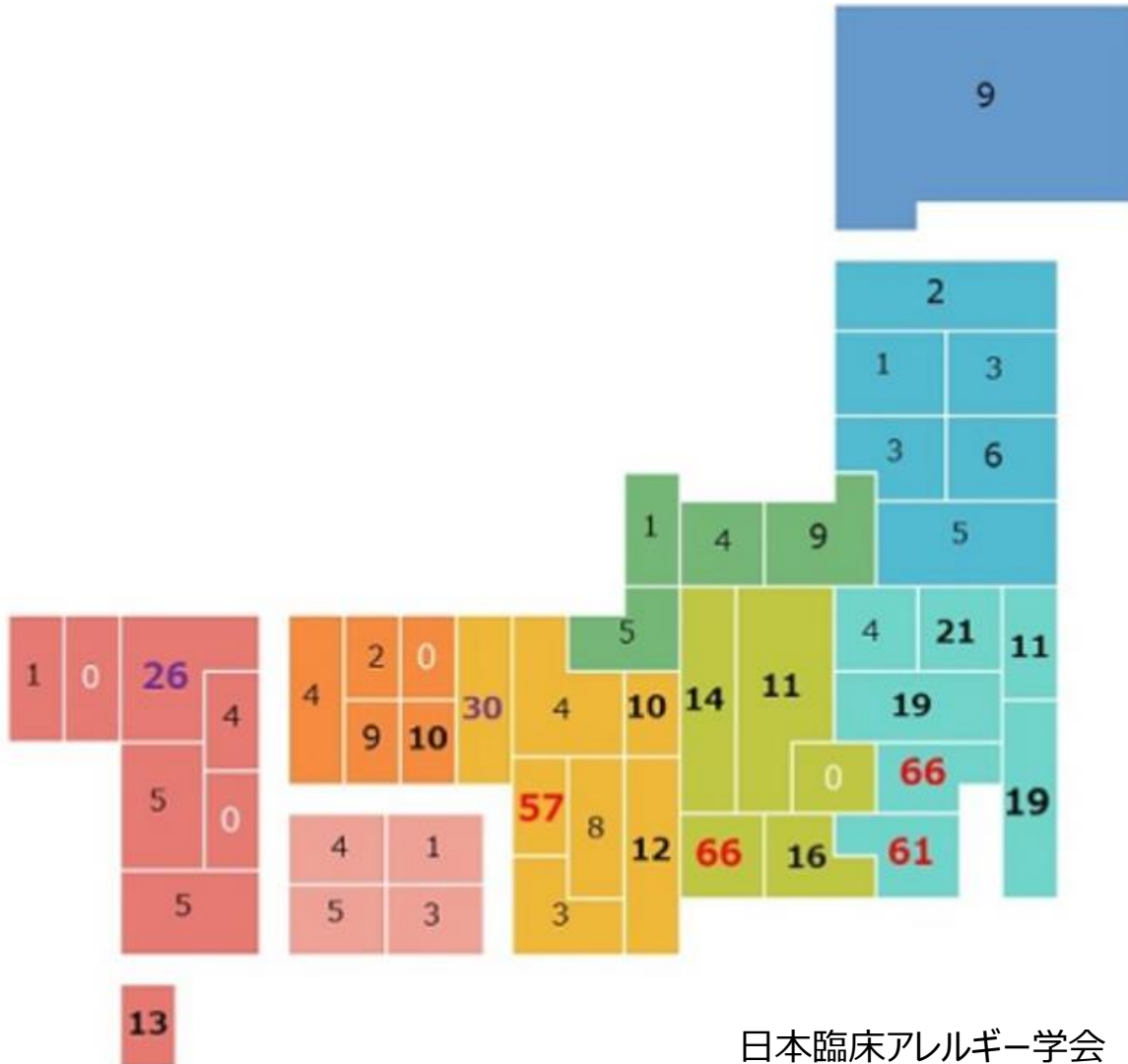


採血

DVD
スキンケア

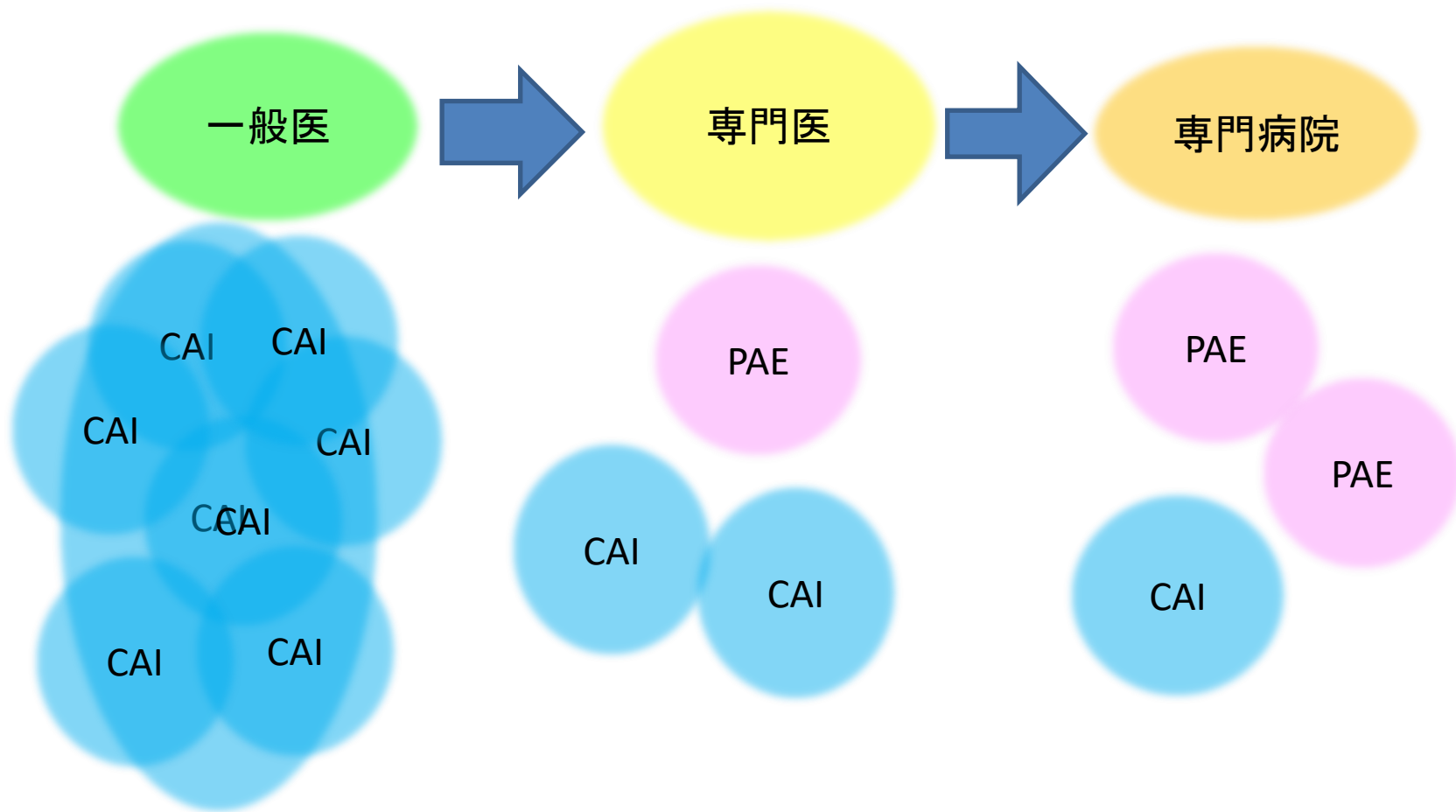


PAEの全国分布





アトピー性皮膚炎 診療の流れ





PAE 今後の展望

● 専門性の高い臨床、チーム医療

行動変容を伴う患者教育/難治性の高い疾患対応

⇒ 拠点病院に必須な存在

● 専門職者向けの教育、コンサルテーション

アレルギー疾患療養療法士 (CAI)

● 地域の啓発活動・連携 (地域のチーム医療)

→ 病院外での地域活動

講習会等の活動をしているもの 51% (2014年古川調べ)

リーダー的 指導的 中核的な役割が大きい